



**food & drink technology Africa 2019**

**ファイナルレポート**

国際飲料・液状食品技術見本市

2019年7月9日～11日

南アフリカ / ギャラガーコンベンションセンター

2019年7月15日

**最高の結果を出した food & drink technology Africa**



**Summary**

- サステナビリティは食品・飲料業界の最重要課題
- 国外から多数の企業参加
- 同時開催のコンセプトが出展社と来場者から高評価

**Facts & Data**

会期	2019年7月9日(火)～11日(木) 9時～17時 ※最終日のみ16時まで
会場	南アフリカ / ギャラガーコンベンションセンター
主催	Messe Muenchen South Africa (Pty) Ltd. - メッセ・ミュンヘン・アフリカ
後援	VDMA - ドイツ機械工業連盟 食品加工・包装機械工業会 ibd beer awards - 醸造・蒸留研究所
規模	17,000 m <sup>2</sup> (同時開催の IFAT Africa, analytica Lab Africa 含む)
出展企業	13カ国から65社
来場者総数	1,790人
主な出展品	ビール・ワイン・蒸留酒・ソフトドリンク(乳飲料・清涼飲料)・液状食品製造加工機械・プラント、醸造・充填・衛生技術、製造加工自動化・制御・IT技術、原材料・フレーバー・添加剤、飲料容器洗浄・密閉・ラベル・識別技術・機械、プラスチック容器製造機械・原料、各種容器・包材、保管・貯蔵、物流搬送技術、リサイクル、水・廃水処理、エネルギーシステム、レストラン・ケータリング向け機器、ラボ技術、研究、各種サービス、業界団体・媒体 など
初回開催	2014年
専用URL	<a href="http://www.fdt-africa.com">www.fdt-africa.com</a> (英語)

第4回 food & drink technology Africa が、7月9日から11日まで、南アフリカのヨハネスブルグで開催され、飲料・食品・液状食品の業界から多数の企業が参加した。13カ国からの出展65社が、資源保護に向けての革新的な開発から、原材料、加工、充填、包装器機に及んで、アフリカ市場向けの個別ソリューションを紹介した。ギャラガーコンベンションセンターでは、analytica Lab Africa と IFAT Africa も同時に開催され、展示エリアと併催プログラムにおいて相乗効果をもたらした。すなわち、同時開催のコンセプトは、満足のいくものとなった。



メッセ・ミュンヘンの Reinhard Pfeiffer は、「food & drink technology Africa は、南アフリカ市場の成長にとって大変重要な存在である。特に、サステナビリティというテーマは、食品・飲料の梱包や製造においても業界の関心事である」と語った。それゆえ、コロケーションのコンセプトは、「これらのニーズに応え、業界の枠を超えて個々に適したソリューションを提供する」最も効果的な方法であると Pfeiffer は続けた。同時開催された見本市を合わせて、計 8,324 人の来場者は、環境産業、飲料・食品業界、ラボ・分析技術のトレンドやイノベーションに関する

情報を入手することができた。

オープニングで行われたパネルディスカッションにおいても、「南アフリカにおける食品・飲料業界の持続可能な開発目標(SDGs)への貢献」というタイトルで、サステナビリティに関するテーマが取り上げられた。Bureau of international Recycling(BIR)の元会長で Global Recycling Foundation の創業者 Ranjit Baxi 氏、Plastic SA 社のディレクター Douw Steyn 氏、そして、Pentair 社のマネージングディレクター Emmanuel Rurema 氏は、プラスチックの削減、サステナブルな製造、また、食品と飲料水を確実に供給していくために、市民社会と産業界と公共部門の三者による早急かつ卓越した共同行動が必要である、という考えで一致した。Rurema 氏は、以前から世界中の食品・飲料業界における再考に注視している。製造業者には、よりサステナブルな方へ向かう責任があると認識している。例えば、飲料業界は、製造過程で生じる水の消費量と廃棄物の削減に努力している。

### 将来性のある販売市場

メッセ・ミュンヘンのプロジェクト・グループ・ディレクター Petra Westphal は、「参加企業の国際性の高さは、南アフリカ市場と周辺諸国における潜在力を物語っている」と、確信をもって述べた。それについて、VDMA Food Processing and Packaging Machinery Association のコンサルタント Vera Fritsche 氏も、「食品、液状食品、飲料の消費は増え続け、生産量も伸びている」と裏付けした。そして、これは、近代的な製造・加工・梱包技術に対応した需要に反映されているとし、「この需要増加に対応するために、外国からの機械やプラントの輸入が、今後も必要である」と語った。

### 数字で見る food & drink technology

13カ国から65社がこの見本市に出展を行った。Bosch Packaging 社、Fermentis 社、GEA Africa 社、Instek Control 社、KHS Manufacturing 社、Pentair 社、SCHAFER Container Systems 社、SMC Corporation South Africa (Pty) 社など、国内外の国際的マーケットリーダー企業が、来場者を魅了した。中国、インド、ドイツによるジョイントブースは、国際企業にとっての見本市の更なる重要性を実例で示している。

メッセ・ミュンヘン南アフリカの Chief Executive Officer である Suzette Scheepers は、「来場者は、この三つの見本市で、各業界のトレンドとイノベーションについて学ぶ機会を得た。次回の food & drink technology Africa も、今回と同様に、analytica Lab Africa 及び IFAT Africa と同時開催し、コロケーションの付加価値を今後も提供していきたい」と、抱負を述べた。

三つの見本市は、ギャラガーコンベンションセンター内の4ホールと屋外展示スペースを合わせた合計17,000㎡を使用して開催された。来場者総数8,324人の内、1,790人がfood & drink technologyを訪れた。全385社が、自社のソリューションと製品を紹介した。その内、food & drink technology Africaには65社、analytica Lab Africaには148社、IFAT Africaには172社が出展した。



次回の food & drink technology Africa は、2021年7月13日から15日にかけてギャラガーコンベンションセンターで IFAT Africa、analytica Lab Africa と同時開催される。

詳細は <https://fdt-africa.com/>まで。

写真とロゴはメディアデータベース <https://fdt-africa.com/logos-and-banners-2019.html>よりダウンロードできる。

**資料請求、出展申込み、各種お問い合わせ先:**

**メッセ・ミュンヘン 日本代表部**

株式会社メッセ・ミュンヘン・ジャパン

〒105-0001 東京都港区虎ノ門 3-20-3 ノアーズアーク虎ノ門 5階

Tel.: 03-6402-4583 Fax: 03-6402-4584 E-mail: [info@messe-muenchen.jp](mailto:info@messe-muenchen.jp)

URL: [www.messe-muenchen.jp](http://www.messe-muenchen.jp) (日本語) [www.messe-muenchen.de](http://www.messe-muenchen.de) (英語/ドイツ語)